

# じゅしゅう

## 仏教って何だろう…

仏教はお釈迦さまが説かれた教えです。お釈迦さまは別名として釈迦如来、釈迦牟尼仏、など色々な呼び方がありますが、如来や仏という呼び名は悟られた方のことを指します。仏教とは自らが悟りを得ること、また他を悟らせることを目的としています。つまり、私が悟りを開き、仏に成る教え、というごことなのです。では、何気なく普段使っている「悟りを開く」とは一体どういうことなのでしょう。先口、月参りの後でこんな会話がありました。



門徒：「最近、思うように体が動かなくなってきました。できると思っていたことができなかつたり…」  
 住職：「わかります。私も疲れが取れなくなってきました。いつまでも若いつもりでいてますが、体はそんなことないんでしょうね。」  
 門：「こんなはずじゃなかったんですけれどね。昔はできていたし、今もできると思っているのに。それなのにできなから悔しくて。」  
 住：「頭に思い描いている昔の自分と、実際の今の自分とは違うんですよね。また、他人と比べてしまったり、どうして私だけが、と思ってしまうこともあります。今の姿をそのまま見る、と

いうことは本当に難しいですね。」  
 世の中は諸行無常ですから、私たちの体も、もちろん常に変化し続けています。年齢を重ねていけば、体は衰えていくものです。「それは当然のことなんだから体が思うようにならないことも当たり前です。」  
 と思うことができればよいのですが、今の自分の姿を受け入れることはなかなか難しいことです。本当のすがたをその通り受け入れられたら、世の中の真理を真実のまま見ることができれば、実はそれが悟りを獲得するというごことの一つなのです。  
 お釈迦さまは悟りを獲得するための道はいろいろあると説かれました。自分に合った道を選んでいけばよいと仰っておられます。真実を

第39号  
(通算379号)

発行元  
浄土真宗本願寺派  
吉富山 浄覚寺  
大阪市平野区  
長吉長原3-1-10  
06-6790-8350

### 浄覚寺ヨガ教室

- ・7月20日(水) 10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

☆ヨガマットの貸し出しもありますので、お気軽にご参加ください。

見ることができると自分に分を変えていく道もあります。けれど、どれだけ頑張っても変わることができない私、迷っていることにすら気づけていない私のために、阿弥陀という仏さまが私をお浄土に生まれさせ、そこで必ず悟らせる、と示してくださいました。  
 煩惱を持った私たちですから、この身のまま悟りを獲得することは難しいことです。苦しみが無くなることは無いのかもしれない。けれど、何とかして苦しみに寄り添い、少しでも幸せに生きてほしいと、阿弥陀さまは願っておられるのです。



弥陀の本願信ずべし

本願信するひとはみな

摂取不捨の利益にて

無上覚をばさるとるなり

『正像末和讃』



# 御文章に聞く(第35回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていききたいと思えます。前回でこの「信心獲得章」についての解説はできたかと思いますが、最後に注意書きのような部分があります。

信心獲得章(五帖第五通) 悪業無始以来つくりとつくる、願力不思議をもつて消滅す。不退の位に住すとゆえに、正定聚より、この義は、当流一途の所談。槃をうといえるは、沙汰あるべからざるごとき、よくよく、こころうべきものなり、よくよく、あなかしこあなかしこ

「この義は、当流一途のこころうべきものなり。」の部分です。この教えは浄土真宗独自の教えです。浄土真宗以外のの人に不用意に述べては誤解をまねきますから、よく注意せねばなりません。煩惱が悟りの邪魔をしますから、浄土真宗以外の仏教では、煩惱を断じて涅槃(悟り)を獲ます。ところが阿弥陀さまは(浄土真宗では)すべてのいのちをもちとなく救い取る方法として、煩惱を断ぜずに涅槃を獲させるはたらきを仕上げられました。

で、そこをお伝えします。「この義は、当流一途のこころうべきものなり。」の部分です。この教えは浄土真宗独自の教えです。浄土真宗以外のの人に不用意に述べては誤解をまねきますから、よく注意せねばなりません。煩惱が悟りの邪魔をしますから、浄土真宗以外の仏教では、煩惱を断じて涅槃(悟り)を獲ます。ところが阿弥陀さまは(浄土真宗では)すべてのいのちをもちとなく救い取る方法として、煩惱を断ぜずに涅槃を獲させるはたらきを仕上げられました。

# 仏教語辞典



引 導  
いんどう

迷い苦しむ人々を仏道に引き入れ導くこと。現在は見込みのなくなった者を諦めさせるといった意味になっている。

『気になる仏教語辞典』 著・麻田弘潤 誠文堂新光社 仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

# 編集後記



今月も「じゅこう」をお届け致します。初めてのことでありますが、六月中に梅雨が明けました。いつもより早く夏が来ております。そのせいか、境内の蓮もどんどん成長し、綺麗な花を咲かせてきています。ご覧ください。(釋法道)

来月に改めてご案内させていただきますが、八月の盂蘭盆会は従来の法要に加えて、インターネットからでも参拝ができるよう、YouTube生配信法要を試みたいと思っております。また、皆さまからのご要望にお応えして、門徒総追悼法要の中で故人のご法名を読み上げ、偈ばせていただきます。この度の法要をできるだけ身近なものと感じていただきたいと思います。どうぞご期待ください。

# 8月

日時・八月十五日(月) 十時・十四時  
行事・午前十時(インターネットでお参りいただけます)  
盂蘭盆会 並びに 門徒総追悼法要 (収録生配信)  
・午後一時(通常の法要です)  
盂蘭盆会 法話 花岡静人先生(奈良)  
場所・長原浄覚寺

# 行事案内

日時・七月十七日(日) 十三時〜十六時  
行事・浄覚寺ごども会夏のつどい  
場所・長原浄覚寺 詳細は別紙にて  
(なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)